

シカモア日本語教室 もみじ組 名前

## <sub>しゅく</sub> 宿題 たしかめ表

令和7年 5月30日~6月5日

おうち の人の サイン			今 週 の 宿 題 9
	S	ı	★毎日・音読「俳句を楽しもう」「こそあど言葉を使いこなそう」 「引用するとき」 漢字カード <mark>③</mark>
	S	2	★毎日・漢字学習ノート
	S	3	★毎日・漢字テスト勉強
	S	4	★今週の出来事
	S	5	(I) 教科書じゅ業プリント8のつづき「まいごのかぎ」
	S	6	(2) 教科書ふく習プリント8「まいごのかぎ」
	S	7	(3) 教科書よ習プリント 9
	S	8	(4) 言葉調べと文作り 9
	S	9	(5) ことわざ調べ 9
	S	10	(6) 部首プリント 9
	S	П	(7) かし組の漢字のふく習 9
	٧	12	(8) 音読ビデオーp.91と92を読みましょう。
		13	今月の歌「いっぽんでもにんじん」

\* S は Google Classroom のスライドにアップロードする。V はビデオ、M はメール。

## **音読力 一ド きのうより上手に読めたかな** よくできた ◎ できた ○ もう少し △



読 む め あ て	金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内ようがわかる							
おうちの人のサイン							

## 今週の二つの出来事

名前

⊖今週に起こった二つの出来事を書きます。

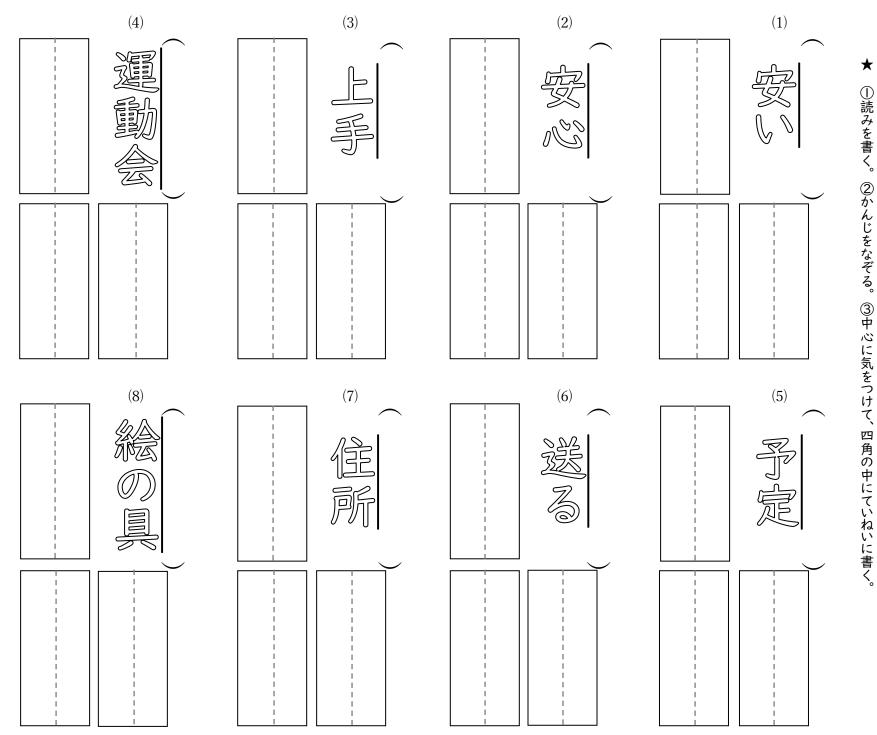
◎「はじめ」「中」「終わり」の文章の組み立てを考えながら書きましょう。

終わり	中	はじめ
		令が和わ
		年
		月
		日
		曜日

終わり 中 はじめ 令和 年 月 日 曜日

か、

9



シカモア日本語教室 もみじ組 かんじテストもんだい



# 教科書ふく習プリ

## ( ) ご の かぎ」 2

きや順番をかえ始 と、がっそうするように鳴らしたのです。 して、 つながってきたバスが、 きみょうなことは、 クラクションを、ファ、ファ、 リズムに合わせて、 さらにおこりました。 りいこの前で止ま くるくると、 ファーン、 7

めました。りいこ



は、目をぱちばち しながら、 そのダ

ンスに見とれていました。

そして、はっと気づいたのでなんだか、とても楽しそう。」

「みしょら、-・・・ をとびたかったんだ。 たいだろうし、 なんだ。ベンチも、たまには公園でねころび と春がすぎても、みんなと遊びたかったから たら、あのさくらの木も、楽しかったのかも しれない。どんぐりの みをつけたのは、きっ はっと気づいたのです。 あじだって、 いちどは青い空 もしかし

みんなも、 すきに走ってみたかったんだ

線に帰っていきました。 うに、一台一台といつもの路 その

しばらくして、

バスはまんぞく

したかのよ

(3)

うにこちらに手をふってい 図工の時間にけしてしまっ とき、 いこはたしかに見たのです。 あのうさぎが、うれしそ 一つのまどの中に、り



した。 した。りいこは、 かえしました。 いつのまにか、 りいこもうれしくなって、 いつまでも、 にぎっていたはずのかぎは、 かげも形もなくなっていま 夕日にそまりだした空の中 その手をふりつづけてい 大きく手をふ

## 上の 文章を読んで答えましょう。

- ○をつけましょう。 りますが、どんなことがおこりましたか。二つに Ø きみょうなことは、 さらにおこりました。とあ
- きや順番をかえ始めたこと。バスがリズムに合わせて、
- らして、りいこの前を通りすぎたこと。つながってきたバスが、クラクションを鳴
- らしたこと。り、クラクションをがっそうするように鳴り、クラクションをがっそうするように鳴つながってきたバスが、りいこの前で止ま
- すか。 、いこが、ゆ )に書きましょう。 どんなことで

さく、
5
の
木

春がすぎても、 )こと**。** 

ベンチ

あじ

) ( ) > ' 0

いましたか。
みんなは何をしてみたかったんだと、 みんなとは、 何のことですか。また、 りいこは思

みんな

てみたかったこと

(4)りいこは、 何をたしかに見たのですか。

のを。

(5) いつのまにか、 どうなっていましたか。

(6) たか。 その手をだれにふりつづけていまし



# 事はい

教彩書	よ習フリント 一俳句を楽しもう」8
- 俳句は、何音でできていますか。	ます。○の中に入る文字は何でしょう。
3. 五音と七音を組み合わ	五音と七音を組み合わせた歌を、おうちの人といっしょにさがしてみましょう。
6.「引用するとき」	
調べたことを	するときには、本などに書いてある
と、自分の	とを、くべつしなければいけません。ほかの人の言葉
を自分の文章や話	を自分の文章や話の中で使うことを、といいます。
文章での	のしかたには、きまりがあります。
口本などの	をしめす。
	をつけるなどして、自分の言葉とくべつする。
	だけを使う。
□元の文章を	ぬきだす。



# 言葉調べと 文作り 9

らんで書きます。 ★次の言葉の意味を国語辞典で調べます。言葉の意味が二つ以上ある場合は、教科書に一番合った意味をえ

★★ 調べた言葉から三つをえらんで、文を作ります。(しゅ語とじゅつ語のそろった文を作ります。)

海 B 和 あ 41

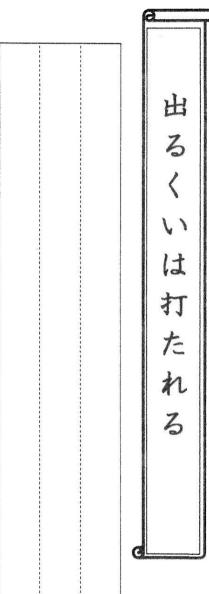














当日、晴れないよ…、

ことをいのろう

## 部首(ぶしゅ) 9

**★次の漢字の部首をハイライト** 部首の名前を書きましょう。 した後

★★次の部首のつく漢字を書きましょう。

3

②おうへん

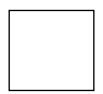
③きへん

④さんずい

⑤おおが ( )

**6** 

5%



①のぎへん

ましょう。 教科書の百五十ペ ージからを見てみ





## かし組のかん字のふくしゅう 9

かたちがよう	まる・おる・ある・まる・			2 3 3 112 14 5) 4 15	.,	7 12-
开分野			A Total Control of the Control of th	泉線線		
「三かく形」	「丸い形」	「まん丸」	「線をひく」	「線ろ」	「点線」	●「点・線・丸・形」のつくことばをかきましょう。

商品	一部	海岸	絵の具
近所	整える	開く	住所
大人	太陽	緑色	送る
申す	区切る	悲鳴	予定
童話	調子	円い	運動会
助言	対する	坂道	上手
練習	感じる	向かう	安心
平泳ぎ	路線	拾う	安い